

令和5年度 児童発達支援自己評価（職員） まとめ

- ① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか
- ・リハビリの部屋等、設けられている。
 - ・活動内容によって、遊戯室や園庭なども使用し活動を行っている。
- ② 職員の配置数は適切であるか
- ・介助に入る職員がいる。
 - ・毎日、人数に合わせ適切な人数で支援が行える様にしている。時間でも刻んでいる。
 - ・その日の利用人数、職員の人数によって配置を変更し対応できている。
 - ・職員が休みの際は、他のクラスから職員に入ってもらっている。
 - ・休息や昼食時は交代で行き、人数は調整できている。
- ③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか
- ・排泄の時に、言葉で伝える事が難しい子どもは、トイレマークを室内に貼っている為、タッチして行くようにしている。
 - ・子ども達には各自のマークがあり、ロッカーや靴箱などにマークが貼ってあるので、目で見て分かるようになっている。
 - ・職員室横のスロープがある。
- ④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか
- ・毎朝、部屋・園庭等の掃除を行っている。玩具類の消毒も行っている。
 - ・毎日消毒を行い清潔を保っている。保育室内に不必要なものは置かない様気をつけている。
 - ・毎日、朝・夕方と掃除を行っている。活動に合わせて環境を考えるようにしている。
 - ・使用した玩具の消毒も毎日行っている。
 - ・毎日の消毒・掃除に必ず取り組んでいる。また、危険なものは置いておかないように気をつけている
 - ・毎日、朝と帰りに各クラスや窓の除菌や園庭の見まわりを行っている。
 - ・各クラスの年齢に合った遊びや道具がある。
 - ・各クラスに空気清浄機を設置。

- ⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか
- ・目標を設定し、しっかり反省を行っている。
 - ・その日にあった出来事や不安に思っていることは、各クラスの担任同士で話し合いをしている。
- ⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意見等を把握し、業務改善につなげているか
- ・評価表には目を通し、職員同士で話し合い、改善につなげている。
 - ・毎年評価表を配布している。
 - ・毎年評価表を配布し、改善につなげている。連絡帳などで保護者の意見があれば、その都度対応している。
 - ・評価表について勉強会を実施している。
- ⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか
- ・評価表の結果はホームページに公開してある。
- ⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか
- ⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか
- ・月に1回の勉強会や研修に参加している。
 - ・外部の研修に参加させて頂いたり、園内で研修報告や勉強会を設けている。
 - ・研修へ参加する機会を準備して頂いている。
 - ・ティーチャーズ・トレーニング、勉強会を定期的に行っている。
- ⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか
- ・子どもひとりひとりに合わせ、保護者の意向にあった支援を立てている。モニタリングも参考にしている。
 - ・担任でしっかり話し合い作成している。
 - ・面談や電話や連絡帳でのやりとりを行っている。
- ⑪ 子どもの適応行動を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

- ⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか
- ⑬ 児童発達支援に沿った支援が行われているか
- ・計画に沿って支援を行っている。
 - ・声かけの仕方など、統一するよう心掛けている。
 - ・クラス内で支援について話し合いながら計画に沿った支援を行えるよう努めている。
 - ・子ども一人ひとりの支援内容を把握し、目標が達成できるよう、子どもたちに合わせ支援を行っている。
- ⑭ 活動の立案をチームで行っているか
- ・クラスの担任同士で話している。
 - ・担任で確認を行い、計画している。
 - ・必要に応じてクラス内で話し合い立案している。
 - ・職員同士で話しをしながら決めている。
- ⑮ 活動が固定化しないよう工夫しているか
- ・なるべく活動が重複しないように工夫している。
 - ・毎月の活動に子どもたちが飽きないように、その月のイベント等をまじえて行事に取り組んでいる。
 - ・固定化しないよう考えるように努めている。
 - ・以前の反省点を活かしながら立案している。
 - ・子どもたちへ様々な体験ができるように、工夫しながら作成している。
- ⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか
- ・モニタリング等を参考にしながら作成をしている。
 - ・個別支援計画書を作成している。
- ⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか
- ・必ずではないが、打ち合わせできる時間は行っている。
 - ・週ごとに担当が変わるので、内容をお互い伝え合うようにしている。
 - ・バス添乗等により、全員がそろえることは少ないが、担任同士で打ち合わせや振り返り

を行えるよう心掛けている。

- ・バスの添乗にもより、支援開始前に打ち合わせなどはできないこともあるが、伝えるべきことはすぐに伝えている。
- ・必ずとは言えないが、活動内容など伝えるようにしている
- ・朝礼を行い、各クラスで情報共有をしている。
- ・朝打ち合わせをし、確認をして、申し送りで報告している。
- ・前もって指導支援計画を立て打ち合わせを行っている。

⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日の行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

- ・職員がそろう時は、1日の反省点や子どもたちの支援で困っていることを話す。
- ・子どもたちが帰った後、子どもの一日の様子や気になる点を話して共有している。
- ・バス添乗に等により、全員がそろうことは少ないが、担任同士で打ち合わせや振り返りを行えるよう心掛けている。
- ・気になったこと・困ったことは聞くように心掛けているが、聞けていない時もある。
- ・その日の出来事や疑問に思っていること等は、話し合いをする場を設けている。
- ・バスの添乗の関係もあり、必ずは行えないが、できる時には話すことが多い。

⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

- ・毎日、連絡帳・日誌等で記録をしている。
- ・日誌や連絡帳に記入し、いつでも振り返りができるようにしている。
- ・日誌の記入や、備考欄にも記入するようにしている。

⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか

- ・定期的なモニタリングを行い、達成している項目は支援を変更している。
- ・相談からのモニタリングを通し、担任間で確認をしている。
- ・面談を行い、見直しをしている。
- ・中間評価表や年度末評価表も作成している。また、モニタリングも必ず行っている。

㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

- ・担当者会議を行っている。
- ・園長や担任などが参加している。

㉒ 母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか

- ②③ (医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか
- ・現在、対象児の子がいない。いる場合はしっかり連携を行っている。
 - ・今は医療的ケア児はいないが行っていた。
 - ・医師からの診断書を頂いている。保護者からの同意書も頂いている。
 - ・現在は対象児はいないが、いる時には必要に応じて連携を行っていると思う。
- ②④ (医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか
- ・対象児はいないが、いる時には必要時連携をとっている。
 - ・今現在は対象児童がいないが、体制は整えている。
- ②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼児部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
- ・訪問などを行っている。意見交換等行えている。
 - ・園長や職員が訪問している。
 - ・引き継ぎシートで確認が行える様にしている。
 - ・保育園との併用や移行など、必要に応じて情報共有ができるようにしている。(電話でのやりとり、書類など)
- ②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか
- ・連携を行っている。
 - ・年長児は小学校移行に向け、情報共有ができるよう書類等を記入している。
 - ・引き継ぎシートを利用し、情報共有している。
- ②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか
- ・研修等に参加した際は、意見交換ができています。
 - ・研修はないが、他事業所と交流はある。
 - ・他事業所より実習に来られたりしている。
- ②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか
- ・三池小学校と交流できた。
 - ・地域の小学校や、児童福祉施設との交流会に参加している。

- ・地域交流交歓大会
- ・小学生や中高生との交流はあるが、保育所や幼稚園との交流はない。

②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか

- ・市役所、幼稚園、保育園訪問を行っている。
- ・園長が行っている。

③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

- ・連絡帳、電話等で伝えている。
- ・連絡帳を通し共有できている。
- ・連絡帳やバスお迎え時など、できるだけ細かいやりとりができるように心掛けている。
- ・一日の様子や気になったことは、必ず保護者へ伝えている。

③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか

- ・手紙を配布し、参加を呼びかけている。
- ・毎年、年度初め～開催されている。

③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

- ・入園の際に契約書にて説明を行っている。

③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか

- ・定期的に面談を行っており、説明をしている。

③⑭ 定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っているか

- ・連絡帳等で毎日保護者とやりとりをしている。
- ・悩み等を連絡帳に書かれてある際は、その都度、適切に対応している。
- ・定期的に面談や連絡帳で行っている。
- ・連絡帳を通して、家庭での様子など情報を聞き、相談等に返信をしている。

- ③⑤ 父母の会の活動を支援する、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか
- ・保護者会、つぼみの会などがあった。
- ③⑥ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか
- ・適切に対応を行っている。
 - ・迅速な対応を心掛けている。
 - ・連絡帳や電話をする。
- ③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか
- ・園だより等で伝えている。
 - ・園だより、クラスだより、給食だよりを月1回配布している。
 - ・ホームページでも様子が見れるようにしている。
 - ・年度初めの年間行事予定や、毎月の園だより等で発信している。
- ③⑧ 個人情報の取扱いに十分注意しているか
- ・同意書を取り、十分な説明を行っている。
 - ・個人情報取り扱いに関する勉強会を行っている。
 - ・シュレッダーを利用したり、個人情報がのった書類は持ち出さないようにしている。
 - ・個人情報秘密保持に関する誓約書の記入等も行い、外部へもらさないよう徹底している。
 - ・外部で職場の話をしなない。
- ③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか
- ④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか
- ・サンキューバスの運営や、地域の行事に参加させて頂いたりしている。
 - ・三池公民館(高校生)との交流を行った。
 - ・納涼祭では、地域の方も参加できた。
- ④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか
- ・定期的に勉強会、実施訓練を行っている。
 - ・委員会の設置をしている。必要に応じた訓練を行っている。

- ・委員会を設置し、話し合いや実際訓練を行っている。
 - ・毎月避難訓練を行っている。
- ④② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか
- ・毎月避難訓練を行っている。
 - ・避難訓練、災害訓練を月1回している。
 - ・火事や地震等を想定して、定期的に行われている。その時の振り返り、反省もできている。
- ④③ 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか
- ・家庭環境調査、書類等で確認を行っている。
 - ・年度初めに書類を記入して頂いたり、内服薬を預かって保管している。
- ④④ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか
- ・医師からの診断書、給食室、保護者、担任で確認を行っている。
 - ・指示書に基づき対応している。
 - ・アレルギーの診断書を提出してもらっている。
 - ・食物アレルギーの診断書に基づいて、朝の申し送り時に、変更の有無を確認している。
- ④⑤ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか
- ・ヒヤリハットが起きた場合は書面にしている。
 - ・ヒヤリハットのファイルをいつでも見られる様にしている。
 - ・ファイルを作成し、共有できるようにしている。
- ④⑥ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか
- ・虐待防止委員会を設置している。
 - ・研修に参加したり、報告会や勉強会を行っている。
- ④⑦ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか
- ・保護者には十分な説明。同意書。職員間での情報の共有を行っている。
 - ・必要に応じて、同意を得て計画書に示し対応している。